

2022. 7. 3



† 聖日礼拝 前11時

(司会) 宇都宮直兄

高殿成子姉

ヨハネによる福音書4章23節

讃美歌 四一六(1節のみ)

九三(5A)

主の祈り 一四三

交誦詩編 九三(4の1A)

使徒信条 二四

讃美歌 出エジプト記 34章29〜35節

祈禱書 コリントの信徒への手紙二 3章12〜18節

讃美歌 二〇八

説教 「主の方に向き直る」

佐藤栄一 牧師

祈禱 四七五

讚美歌 二七

献金

讚美歌

祝禱

報告

§ 今週の集会

日曜学校 3日前9時

7月定例役員会 3日後1時

祈禱会 6水前11時 (加山牧師)

* 今日の会堂掃除(2・3F礼拝堂のみ)

礼拝後 有志でお願いします。

※トイレは有志が週日にご利用ください。

♪ 讚美歌について ♪

私たちは今、マスク着用で、賛美していますが、「歌わない」、「ハミング」などを選択している教会もあります。昨年の讚美歌練習で学んだように、「小さな声で互いの声を聴き合う」美しい賛美を目指しましょう。

〈礼拝当番〉(オンラインでは割愛)

※ 7月3日の出席地区は(会員名簿の)「六角

橋」・「緑区・青葉区・都筑区」「市内」「県内」

「東京」の方々ですが、感染症の脅威が衰えて
いませんで、出席については、くれぐれも慎重
にご判断ください。

* 個人消息(オンラインでは割愛)

夏期特別献金開始

目標額 一九〇万円

使途 教職への感謝のしるし、教会の諸活動のために。
期間 7月いっぱい(こ都合で8月に入ってからでも

結構です)。

もし教会員以外の方で献金してくださる方がいらつ
しやいましたら、2F受付の小掲示板の状差しに献金
袋がありますのでご利用ください。

◆ 予告 8月の集会「平和を考えると」

「地域を耕す」ぶかぶかな物語

日時 8月7日(日) 午後1〜3時(昼食は各自で)

※ 感染症対策として人数を把握しておきたい
ので、月末を目途に事前予約をお願いします。

場所 六角橋教会1Fホール

講師 高崎 明さん(NPO法人ぶかぶか代表)

——日曜学校卒業生・青年ベタニア会員の紺野 亨さ
んでお馴染みのカフェ・ベーカリー「ぶかぶか」。こ
こを13年前に立ち上げた高崎さんは、今やNHKな
ドマスコミ注目の「地域福祉」のパイオニア。「地域
を耕す」を自言葉に、「障がいを持った方たちといっ
しょに生きたほうが得です」とおっしゃいます。
「もつと生きやすい社会ができるはずだから」と。

ただ現実には、5年前の相模原障害者施設殺傷事件
といい、最近では市内で、精神障害者グループホーム
建設に住民の反対運動が起こり、今も解決していませ
ん。ただ、そんな現実を変えるのは、「体験」と「言
葉」だと言い切る高崎さんから、「平和とケア」の原
点と原風景を、動画とワークショップをとおして、楽
しく学びましょう。

◆ 沖縄ミニバザ

6月23日の「沖縄慰霊の日」を憶えて、礼拝後、
1Fホールで「ミニバザ」をしています。募金(カ
ンパ)のお願いと合わせ、感染症対策を十分に心がけ

て、手作りの手芸品やお菓子、海藻類などの販売をします。是非、お立ち寄り下さい。

◆ 寿地区センターへ献品及び募金のお願い
(呼びかけ) 交流の旅参加者一同
(8月3日(水) 午前中まで)

(連絡係: 助豊子、小倉薫)

◆ ウクライナ救援募金
できるだけ早い解決を
望みつつ、引き続き募金を受け付け中です。

◆ 横浜キリスト教書店の委託販売

①平和を考える会の年間テーマ「平和とケア」関連
②子育て応援の本、③キリスト教書店のおススメを中心に取り揃えました。購入したい本があれば、所定の用紙でお申し込みください。注文の品は後日、教会まで届けてくれます。7月17日(日)まで。

◆ 暑い季節になりました!

① 冷房に弱い方は、3Fギヤラリーにいらっしやる
と桑です。また2Fならば、冷房機の近くを避け、
7人掛けの椅子の中央あたりをおためし下さい。
なお、3Fギヤラリーは、冷房の効率を考えて、補

助的に扇風機を使うことになっています。

◆ 隠退教師を支える百円献金

分散礼拝の間は、毎週お受けしています。

* 前週の報告

聖日礼拝	17	64	81	(13)	五七〇〇円
6/22祈禱会	3	10	13	(0)	

* さきげもの(オンラインでは割愛)

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋一の二六の八
○四五(四三二)〇六九九
FAX(四三二)〇一九四
郵便振替口座00250・2・979
日本基督教団 六角橋教会

29 モーセがシナイ山を下ったとき、その手には一枚の掟の板があつた。モーセは、山から下ったとき、自分が神と語っている間に、自分の顔の肌が光を放っているのを知らなかつた。

30 アロンとイスラエルの人々がすべてモーセを見ると、なんと、彼の顔の肌は光を放っていた。彼らは恐れて近づけなかつたが、

31 モーセが呼びかけると、アロンと共同体の代表者は全員彼のもとに戻つて来たので、モーセは彼らに語つた。

32 その後、イスラエルの人々が皆、近づいて来たので、彼はシナイ山で主が彼に語られたことをことごとく彼らに命じた。

33 モーセはそれを語り終わつたとき、自分の顔に覆いを掛けた。

34 モーセは、主の御前に行つて主と語るときはいつでも、出て来るまで覆いはずしていた。彼は出て来ると、命じられたことをイスラエルの人々に語つた。

35 イスラエルの人々がモーセの顔を見ると、モーセの顔の肌は光を放っていた。モーセは、再び御前に行つて主と語るまで顔に覆いを掛けた。

- 12 このような希望を抱いているので、わたしたちは確信に満ちあふれてふるまっており、
- 13 モーセが、消え去るべきものの最後をイスラエルの子らに見られまいとして、自分の顔に覆いを掛けたようなことはしません。
- 14 しかし、彼らの考えは鈍くなってしまいました。今日に至るまで、古い契約が読まれる際に、この覆いは除かれずに掛かったままなのです。それはキリストにおいて取り除かれるものだからです。
- 15 このため、今日に至るまでモーセの書が読まれるときは、いつでも彼らの心には覆いが掛かっています。
- 16 しかし、主の方に向き直れば、覆いは取り去られます。
- 17 ここでいう主とは、「霊」のことですが、主の霊のおられるところに自由があります。
- 18 わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます。これは主の霊の働きによることです。